

当行初！ CFP 算定プロジェクトを実施 ～山一金属株の環境価値の見える化を支援～

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、地域企業の脱炭素経営の支援の一環として、山一金属株（本社:静岡県駿東郡長泉町、代表取締役 大賀 俊和）が取り扱う製品の CFP 算定(※)プロジェクトを実施しましたので、その概要をご案内します。

本取り組みは、静岡銀行初の試みであり、(株)AIST Solutions（本社:茨城県つくば市、代表取締役 逢坂清治）および BIRD INITIATIVE(株)（本社:東京都港区、代表取締役 金野 諭）と連携して実施したものです。

今後も、CFP 算定を通じた環境価値の可視化・発信を支援し、地域企業の競争力向上および持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

※CFP（Carbon Footprint of Product）／製品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通じた GHG 排出量を CO2 排出量に換算した値

1. プロジェクト期間 2025 年 12 月～2026 年 2 月

2. 取り組みの背景

- サステナブル経営やサーキュラーエコノミーが大手企業を中心に強く求められるなか、山一金属株では、カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営や資源循環の取り組みを推進されています。
- 同社では、会社全体の温室効果ガス（GHG）排出量の把握や削減に取り組んでいる一方で、創出される環境価値を対外的に訴求していくことが課題となっていました。
- こうした状況のなか、近年、CFP が定量的な環境指標の開示方法として国内外で注目を集めていることから、同社においても、製品単位での環境価値の可視化および訴求に向け、CFP 算定を検討されていました。
- その結果、製品の CFP 算定を実施することで、国際基準を踏まえた客観的な環境価値の証明が可能となる点や、業界内での先進的な取り組みにつながる点などを評価され、本プロジェクトに取り組むこととなりました。

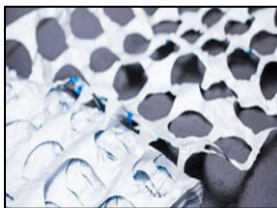
3. CFP 算定内容

- (1) 対象製品／リサイクルアルミ粒（樹脂付きアルミ箔由来）※1
- (2) 比較製品／バージンアルミ地金由来のアトマイズ粉
- (3) 算定根拠／AIST-IDEA ver.3.5.1（世界最大規模のインベントリーデータベース）に基づき算定
- (4) 算定結果／比較製品に比べて、**約▲97.5%の GHG 排出量低減を実現** ※2

※1 対象鋼などの鉄鋼製造プロセスで用いられる還元剤(助燃剤)

※2 上記算定結果は、本 CFP プロジェクトで定められた算定条件に基づき算出

【対象製品】



原材料：樹脂付きアルミ箔の未利用品
(ヨーグルト容器の蓋の端材部分など)



最終製品(CFP 算定対象)：リサイクルアルミ粒